

2026 埼玉国際ジュニア柔道体重別選手権大会開催要項

- 1 目的 本大会は、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとして実施します。
本大会を通して、埼玉県と海外の青少年が、柔道の技量を高め、国際大会で活躍できる人材を育てることを目的とします。
あわせて、本大会を通して、国際的な交流を深め、国際社会に貢献し、グローバルな視野を持つ青少年の育成を図ります。
- 2 主催 埼玉県柔道連盟 リプロ武道館（埼玉県立武道館）
- 3 後援 公益財団法人全日本柔道連盟 公益財団法人講道館
埼玉県教育委員会 公益財団法人埼玉県スポーツ協会 **株式会社埼玉新聞社**
埼玉県高等学校体育連盟 埼玉県中学校体育連盟 埼玉県学生柔道連盟
公益社団法人埼玉県柔道整復師会 埼玉県柔道道場連盟
- 4 協賛 株式会社サイオー **株式会社リプロ**
- 5 日程 令和8年1月17日(土)
「男子」60kg 級・66kg 級・73kg 級・81kg 級・90kg 級・100kg 級・100kg 超級
「女子」48kg 級・52kg 級・57kg 級・63kg 級・70kg 級・78kg 級・78kg 超級
- 6 日時 令和8年1月17日(土) 試合開始 10:00
令和8年1月18日(日) 交流練習試合・練習会 開館 9:00 開始 9:30~15:00 (予定)
- 7 場所 リプロ武道館（埼玉県立武道館）
〒362-0032 埼玉県上尾市日の出四丁目 1877
TEL 048-777-2400 FAX 048-777-2414
- 8 出場資格（※詳細これから）
 - (1) 国内選手は、日本国籍を有する者とする。
 - (2) 国内・国外共に、選手は、2005年1月1日以降、2011年12月31日以前の出生者。
※2025年中に、14歳から20歳になる者
 - (3) 国内選手は、当該県に居住、在学の状態のうち、いずれかを満たし、埼玉県柔道連盟を通して、（公財）全日本柔道連盟に競技者登録をしている者とする。
 - (4) 海外選手の参加は実行委員会が協議、承認する。
 - (5) 海外選手は、各国の国籍を有し、各国、柔道連盟登録をしている者とする。
- 9 審判会議 令和8年1月17日（土）9:00~9:30 埼玉県立武道館 第一会議室
- 10 公式計量 令和8年1月16日（金） 仮計量 15:30~16:00 本計量 16:00~16:30
前日計量を行うことが原則だが、諸事情により、本大会では、当日計量も認めることとする。

令和8年1月17(土)当日 8:30~9:30(時間内計量)

※前日計量で、受付を行なわなかった場合、自動的に当日計量となる。

11 計量場所 男子計量会場：屋内相撲場(前日、当日共に)

女子計量会場：第三会議室(当日は、第2会議室で実施)

12 前日練習会場 令和8年1月16日(金)13:00~17:00

埼玉県立武道館 第一道場

13 試合方法

(1) 国際柔道連盟試合審判規定(2025-2028)で行い、試合時間は4分間とする。

(2) 判定基準は、「一本」「技あり」「有効」とし、得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)で勝敗を決する。

(3) 試合は、トーナメント戦で行い男女全階級敗者復活戦を行う。

(4) 敗者復活戦は、ベスト8以上の選手が対象とする。

(5) 参加選手が5名以下の階級は、リーグ戦とする。

14 服装

(1) 柔道衣は、白色のみを使用し、背部に下記の要領でゼッケンを各自で縫い付けること。

(2) 布地は、白色(晒太綾)で、サイズは、横30cm~35cm、縦25cm~30cm。

(3) 苗字を上部2/3、所属を下部1/3に、ゴシック又は、楷書体で男子は黒字、女子は朱字で記載する。

(4) 縫い付けの場所は後襟から5~10cm下部とし、苗字 対角線にも強い糸で縫い付ける。

※広告の入った柔道衣及びゼッケンは使用不可

(5) 原則、全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用することとするが、柔道衣測定器による柔道衣コントロールにおいて、サイズが合っていれば出場可能とする。

15 参加申込

(1) 参加申込書に必要事項を入力の上、埼玉県中学校体育連盟柔道専門部・埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部・埼玉県学生柔道連盟の了解を得たのち、所属監督を通して申込むこと。

(2) 各階級での海外選手出場状況を見極めた上で、参加の可否を令和7年12月22日(月)から28日(日)までの間、再調査を行うこととする。

*参加再調査QRコード→



16 組み合わせ抽選

申込締め切り後、大会約1週間前に実行委員会で抽選をし、大会会場にて発表する。

17 選手変更

参加申込後、負傷・その他における選手変更をする場合は、公式計量時間前の令和8年1月16日(金)15:00までに、大会本部(埼玉県柔道連盟内)へ「選手変更届」を提出すること。

ただし、選手変更は、1回のみとする。

18 参加費 国内選手 無料

※既に入金済みの選手は、大会当日に各カテゴリーの代表者にまとめて返金を行う予定。

19 表彰 各階級の優勝者から第5位まで(6名)を表彰する。

20 脳震盪対応

- (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
- (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- (4) 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

21 国内・海外監督・コーチについて

- (1) 監督・コーチ・**保護者引率**は、所属団体各2名までとする。
- (2) 監督・コーチは、全柔連指導員有資格者とする。
(※前日計量受付時に、監督・コーチのIDを配布する。)
- (3) 監督・コーチの服装は、全柔連審判員に準じること。
- (4) 海外チームのコーチングスタッフの引率は、各国に一任する。

22 海外選手の招待並びに参加資格

- (1) 招待チーム（オーストラリアニューサウスウェールズ州選抜選手と、台湾新北市選抜選手）は、2泊3日の宿泊・食事費を主催者が負担する。(※昼食はお弁当支給)
- (2) 招待チーム構成は、監督1名、コーチ1名、男子選手7名・女子選手7名とする。
- (3) 海外個人参加選手については、参加費は無料、その他の費用は自己負担とする。
- (4) 海外出場選手の保険加入については、各国・各団体・各個人で加入しておくこと。

23 海外選手宿泊

海外参加選手については、「スポーツ総合センター」宿泊を原則とする。

宿泊のお問合せ スポーツ総合センター(予定)

〒362-0031 埼玉県上尾市東町3-1679 TEL：048-774-5551 FAX：048-774-5550

24 その他

- (1) 開会式は実施しない。
- (2) 皮膚真菌症（トンスランス感染症）の発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会へ出場ができない場合もある。
- (3) 傷害保険については、出場選手の傷害保険は、主催者が加入しその費用を負担する。本大会の会場において事故が発生した場合、予め主催者が手配した医師、看護師等の医療関係者が応急処置を行ったり、医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い、または行わないことがあるが、これらの処置、判断等について故意または重過失が無い限り主催者、医療関係者は責任を負わない。
- (4) 個人情報、肖像権の取り扱いについて ・参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、関連団体のホームページに掲載される場合がある。
・その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
・提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。
・参加申込用紙の提出により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得

たものとして対応する。

25 当日の入館時間と主な予定

- (1) 8:00 競技係員
- (2) 8:15 選手・監督・コーチ
- (4) 8:30～9:30 当日計量を希望する選手の計量時間
- (3) 8:45 審判員
- (4) 9:00～9:30 審判会議
- (5) 9:15 大会役員・来賓
- (6) 10:00 試合開始

26 問い合わせ先

2026 埼玉国際ジュニア柔道体重別選手権大会実行委員会事務局

リプロ武道館（埼玉県立武道館） 事業課 川原・後藤

T E L 048-777-2400 FAX 048-777-2414

MAIL h.kawahara.i33be3@saitama-budoukan.jp